

九州・沖縄地区の9月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比2.2%減、沖縄県は6.9%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた8年度月別・地区別出荷実績によると、9月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比2.2%減の合計6万4千7,545m³。

9月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比5.3%増の2万4千3,974m³、「佐賀県」同15.5%減の2万1千966m³、「長崎県」同14.6%減の4万6,540m³、「熊本県」同2.1%増の1万0千6,859m³、「大分県」24.2%減の4万7,670m³、「鹿児島県」同11.8%減の7万1,334m³、「沖縄県」同6.9%増の1万9千722m³。福岡県、熊本県、沖縄県が増加している。

8年度累計では、「福岡県」が前年度比8.1%増の13万9千5,385m³、「佐賀県」同24%減の1万1千6,429m³、「長崎県」同15.5%減の2万7千3,885m³、「熊本県」同5.2%減の5万4千8,607m³、「大分県」23.9%減の2万7千9,807m³、「鹿児島県」同8.6%減の4万0千2,239m³、「沖縄県」同11%減の5万8千6,782m³。福岡県が好調に推移している。